



# MOMOJI プレス

Vol.4

## 特集! 最先端研究室訪問

二日間にわたる試験もついに終わり、生物学オリンピック三日目は最先端研究室訪問が行われた。選手たちは先端物質科学研究科、総合科学研究科、生物圏科学研究科、医歯薬学総合研究科、理学研究科コースに分かれて広島大学の様々な研究室を訪問した。今回はその様子を紹介しよう。

2011年8月21日(日)

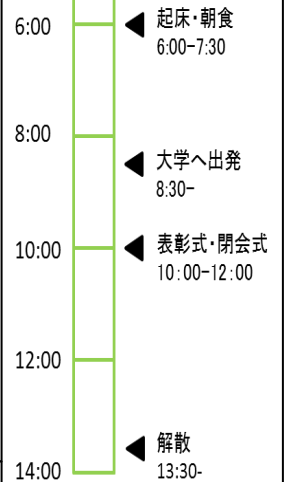
### 本日の天気



最高/最低

23℃/21℃

### スケジュール



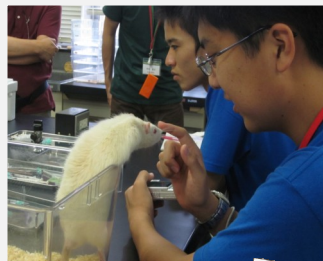
### 先端物質科学研究科コース



選手たちは熱心に臨み、質問する姿も多く見られました。「真剣に話を聞いてくれてやりがいがある。これからも頑張りたい。」  
(荒川賢治先生)



### 総合科学研究科コース



ラットを用いた実験をしました。中学校や高校ではなかなかできない体験でした。

ヒトの癌細胞を観察しました。教員との質疑応答はとても熱いものでした。



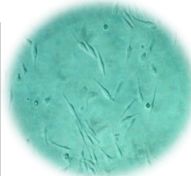
### 生物圏科学研究科コース

ただ今、赤潮除去のモデル実験中です! 選手たちは興味深々そうですね。



鶏卵に組み換えES細胞を注入する模擬実験。真剣な表情で取り組んでいます。

### 医歯薬学総合研究科コース



顕微鏡で観察中  
手作り感のある顕微鏡。ライトはダイソーの懐中電灯でした。

医学部医学科の3年生に案内してもらいました。



### こんな所にも行きました!

生物圏科学研究科附属  
瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター  
西条ステーション(農場)



牛について説明を受ける選手たち。

### 広島大学総合博物館



直に触れることのできる展示物。選手たちのテンションも上がる。

### 理学研究科コース

カエルの卵の観察。  
集中しています。



研究室で遺伝子組み換え作物についての説明を受けました。その後、アグロバクテリウムを使ってトマトとキクに遺伝子導入をする模擬実験。つまようじで茎を突き刺します。

## 交流会のおもひで

20日夕方、研究室訪問を終えた選手たちの親交を深めるために交流会が催された。出口博則実行委員長の挨拶に続き、毛利秀雄前JBO委員長による乾杯の音頭で始まった。二日間共に競い合った選手たちは料理を食べながら話に花を咲かせていた。まさに「昨日の敵は今日の友」である。

また、本学の教員と話す選手の姿も見られ、その顔には僅かばかりの緊張の中に真剣な眼差しが見てとれた。しかし、どの選手も試験中とは打って変わり、表情が穏やかであった。

交流会の途中ではビンゴゲームが催された。数字が発表されるたびに一喜一憂する声上がり、大いに盛り上がった。学生による広大アピールタイムも設けられた。

最後に集合写真が撮影された。参加者は皆笑顔で、交流会が楽しいものであったことを物語っていた。

今日の閉会式で本大会は幕を閉じるが、これからも選手たちの親交が続くことを願う。



秀郁未くん  
明後日からまた別の大会に出場するので大変です。



神谷南帆さん  
ヒツジの採血が面白かったです。

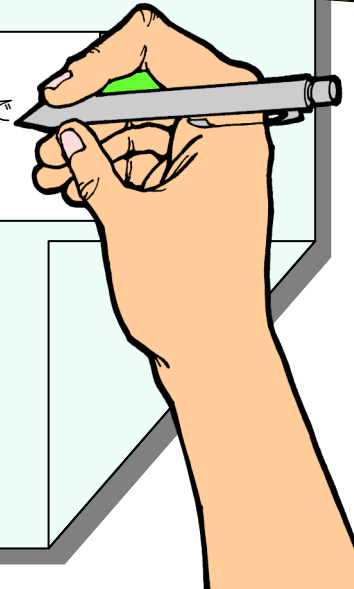


東 賢くん  
間違えて服を裏返しに着てました(笑)



集合写真

3人で



## 施設紹介 その4

### 広島大学大学院理学研究科附属臨海実験所

本附属臨海実験所は、1933年(昭和8年)に旧制広島文理科大学附属臨海実験所として設立された長い歴史を持つ施設です。2000年(平成12年)より大学院理学研究科附属となり、多様な生物学講座・海洋分子生物学研究室として教育・研究活動を行っています。

所在地はメインキャンパスがある東広島市から東に約60km程離れた尾道市向島で、実験所が位置する島の東岸は静かで風光明媚な、研究には抜群の環境となっています。

ここでは臨海という立地を利用して、半索動物ギボシムシや頭索動物ナメクジウオを研究材料とした、比較発生学的・比較ゲノム科学

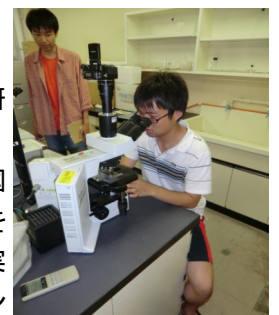


臨海実験所

的・古生物学的に広い視野に立った研究が行われています。

教育面では、学内学生はもとより全国の大学生を対象にした公開臨海実習を実施しています。学内の海洋生物学実習では、磯や干潟での生物採集・プランクトン採集・海産無脊椎動物の解剖・ホヤ・ウニの発生の観察などが行われています。また、小・中・高等学校や各種団体から依頼された実習も行うなど、社会貢献活動にも力を入れています。

向島臨海実験所のホームページでは、向島近海に生息する生物の写真を集めた「向島デジタル水族館」が公開されています。皆さんも一度覗いてみてください。



実習の様子

広島大学 臨海実験所

検索